

別紙6 現行住登外宛名管理②

10. 住民登録外宛名管理業務		業務フロー	作成部署 システム名	住登外システム	作成日 更新日	
大分類	10. 住登外					P.1/1
中分類	1. 住登外照会業務					
業務期間	随時					
小分類 組織	1. 住登外照会業務					
本庁・区役所等 各業務主管課						
住民情報 システム						
概要	<p>各種申請に伴う入力の際、住民登録者及び外国人登録者に該当者が存在しない場合、住登外の照会を行う業務</p> <p>住基法の一部改正により、H24.7.9から外国人DBを参照する外国人の宛名照会は、施行日前時点の内容が表示される。法施行日後、現時点の外国人を照会する場合は、住登者の宛名照会で行う。</p>					<p>更新の履歴(更新日、更新者、更新事由等)を確認できること。</p> <p>住登者(住基DB)、外国人(外国人DB)、住登外(住登外DB)をまとめて検索できること。</p>

別紙6 現行住登外宛名管理②

10. 住民登録外宛名管理業務		業務フロー		作成部署	住登外システム	作成日	
システム名		住登外システム		更新日			
大分類		10. 住登外					
中分類		2. 新規住登外登録業務					
業務期間		随時					
小分類		1. 新規住登外登録業務					
組織							
本庁・区役所等 各業務主管課		<div><div>各種申請書</div><div>既作成の住登外 住基・外国人除票確認</div><div>宛名照会</div><div>既作成の住登外</div><div>無い場合</div><div>有る場合は、 10-4-1. 修正業務へ</div><div>住基除票</div><div>無い場合</div><div>有る場合は、 10-3-1. 除票から登録</div><div>新規登録</div></div>					
住民情報 システム		<div><div>住基DB</div><div>外国人DB</div><div>住登外DB</div><div>宛名異動DB更新</div><div>住登外DB</div><div>宛名異動DB</div></div>					
データ連携 システム							
概要		<div><div>各種申請に伴う入力の際、既作成の住登外が無いかつ住民登録者及び外国人登録者に該当者が存在しない場合、住登外の作成を行う業務</div><div>登録の際、職員番号、氏名、所属、日付、更新事由を住登外DBに登録できること。ただし、宛名異動DBにはこれらの情報を送らない(宛名異動DBへの送信項目はデータ連携設計書参照)。住登外DB上では、個人コードのみ管理し、宛名コードはコード変換DBで複合的に管理する。新規登録では、宛名コードと個人コードを新規に付番すること。生年月日の入力は必須ではない。</div></div>					

【凡例】 :業務 :バッチ処理 :パンチ入力 :システム入力 :ホストデータ :データの流れ :帳票 :業務の流れ :分岐 :電子記録媒体

別紙6 現行住登外宛名管理②

10. 住民登録外宛名管理業務		業務フロー		作成部署	住登外システム	作成日	
大分類		10. 住登外					
中分類		3. 住基・外国人除票からの住登外登録処理					
業務期間		随時					
小分類		1. 住基・外国人除票からの住登外登録処理					
組織							
本庁・区役所等 各業務主管課		<div><div>各種申請書</div><div>既作成の住登外 住基・外国人除票確認</div><div>宛名照会</div><div>既作成の住登外</div><div>住基除票</div><div>無い場合は、 10-2-1. 新規登録へ</div><div>除票からの 新規登録</div><div>有る場合は、 10-4-1. 修正業務へ</div><div>有る場合</div></div>					
住民情報 システム		<div><div>住基DB</div><div>外国人DB</div><div>住登外DB</div><div>住基DB</div><div>除票から 登録処理</div><div>住登外DB</div><div>宛名異動 DB更新</div><div>宛名異動 DB</div></div>					
データ連携シ ステム							
概要		各種申請に伴う入力の際、既作成の住登外が無い、かつ、住民登録者及び外国人登録者に該当者が存在し除票になっている場合、住民登録者・外国人登録者の除票データを利用し住登外を作成し、宛名コードと個人コードを継続する。 住基法の一部改正により、H24.7.9から「5 外国人除票より登録」は廃止となり、外国人も「4 住登除票より登録」で住登外登録を処理する。				登録の際、職員番号、氏名、所属、日付、更新事由を住登外DBに登録できること。ただし、宛名異動DBにはこれらの情報を送らない(宛名異動DBへの送信項目はデータ連携設計書参照)。 住登外DB上では、個人コードのみ管理し、宛名コードはコード変換DBで複合的に管理する。 除票からの作成の際、宛名コードおよび個人コードを継続すること。 生年月日は除票データから引き継ぐこと。	

【凡例】 □:業務 □:バッチ処理 □:バッチ入力 □:システム入力 □:ホストデータ --->:データの流れ □:帳票 →:業務の流れ ◇:分岐 ○:電子記録媒体

別紙6 現行住登外宛名管理②

10. 住民登録外宛名管理業務		業務フロー		作成部署 システム名	住登外システム	作成日 更新日	
大分類		10. 住登外					
中分類		4. 住登外修正業務					
業務期間		随時					
小分類		1. 住登外修正業務					
組織							
本庁・区役所等 各業務主管課							
住民情報 システム							
データ連携 システム							
概要		各種申請に伴う入力の際、既作成の住登外があり修正が必要な場合の業務。				修正の際、職員番号、氏名、所属、日付、更新事由を住登外DBに登録できること。ただし、宛名異動DBにはこれらの情報を送らない(宛名異動DBへの送信項目はデータ連携設計書参照)。住登外DB上では、個人コードのみ管理し、宛名コードはコード変換DBで複合的に管理する。修正の際、宛名コードおよび個人コードを継続すること。データの履歴管理を行えること。	

【凡例】 :業務 :バッチ処理 :パンチ入力 :システム入力 :ホストデータ :データの流れ :帳票 :業務の流れ :分岐 :電子記録媒体

別紙6 現行住登外宛名管理②

10. 住民登録外宛名管理業務		業務フロー	作成部署 システム名	住登外システム	作成日 更新日	
大分類	10. 住登外					P.1/1
中分類	5. 住基・外国人回復処理に伴う住登外削除業務					
業務期間	随時					
小分類 組織	1. 住基・外国人回復処理に伴う住登外削除業務					
区役所 戸籍住民課等	<div>職権回復 申請書</div> <div>回復処理</div> <div>※下枠内は住民記録の業務</div>					
住民情報 システム	<div>住基DB</div> <div>除票から登録された 住登外を更新 自動連動</div> <div>住登外DB</div> <div>修正前を 登録</div> <div>住登外 履歴DB</div> <div>住基DB</div> <div>宛名異動 DB更新</div>					
データ連携 システム	<div>宛名異動 DB</div>					
概要	<div>住基・外国人回復処理に伴う住登外削除業務各種申請に関する入力の際、既作成の住登外があり修正が必要な場合、住民登録者・外国人登録者の除票データを利用し作成された住登外データに削除フラグを立てて使用不可のデータとする。</div> <div>住登外更新の際、日付、更新事由は設定し、職員番号、氏名、所属は値をクリアして住登外DB(除票)に登録できること。</div>					

【凡例】

:業務

:バッチ処理

:パンチ入力

:システム入力

:ホストデータ

:データの流れ

:帳票

:業務の流れ

:分岐

:電子記録媒体

別紙6 現行住登外宛名管理②

10. 住民登録外宛名管理業務		業務フロー		作成部署	住登外システム	作成日	
システム名		住登外システム		更新日			
大分類		10. 住登外					
中分類		6. 住居表示・区画整理等に伴う住登外対象者一覧出力業務					
業務期間		随時					
小分類		1. 住居表示・区画整理等に伴う住登外対象者一覧出力業務					
組織							
本庁・区役所等 各業務主管課							
区政課							
受託業者							
住民情報システム							
データ連携システム							
概要		<p>住居表示・区画整理等に伴い、修正対象の一覧表を出力。出力された一覧表を基に修正入力を行う</p> <p>修正の際、職員番号、氏名、所属、日付、更新事由を住登外DBに登録できること。ただし、宛名異動DBにはこれらの情報を送らない(宛名異動DBへの送信項目はデータ連携設計書参照)。</p>					

【凡例】 :業務 :パッチ処理 :パンチ入力 :システム入力 :ホストデータ :データの流れ :帳票 :業務の流れ :分岐 :電子記録媒体